

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H30.6.1 No.7
文責 林田

☺ 好天に恵まれ… ☺

5月27日、好天に恵まれ、運動会が予定通り実施できました。保護者・地域の皆様には、応援・競技への参加から仕事の手伝いと、様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。

大草小の子どもたち28人は、自分の持てる力を出し切り、満足のいく1日を過ごすことができたと思います。競技には勝ち負けがつきものですが、「勝ち」にこだわることなく、互いの健闘を称えあい、運動会で培ったチームワークの良さを、学校生活の中に生かすことができるようになってきました。

さて、この「勝ちにこだわる」という点について、自分でなかなか気持ちをコントロールできない子もいます。例えば、ゲームで負けたら癩癩を起していつまでも泣いていたり、テストで100点が取れなければ怒ってテスト用紙を丸めたり時には破いたり…。感情のコントロールがうまくできない子の中には、「発達障害」と呼ばれる障害のある子がいます。今回も前回に続き、そのような発達障害についてご紹介します。



《情緒障害》

情緒障害とは、状況に合わない感情・気分が持続し、不適切な行動が引き起こされ、それらを自分の意志ではコントロールできないことが継続し、学校生活や社会生活に適応できなくなる状態をいう。

【障害特性】

- 身体的、器質的なものに起因するような要因は認められない。(*1)
- 社会的あるいは対人関係を中心とした心理的な原因によって生じる。
(かん黙、不登校)(*2)
- 状況に合わない感情・気分が持続し、不適切な行動が引き起こされ、それらを自分の意志ではコントロールできないことが継続し、学校生活や社会生活に適応できなくなることがある。
(*1) 器質的なものに起因する…脳を含む身体の何処かに損傷などの障害があり、それが原因であるということ
(*2) かん黙…家庭などでは話すことができるのに、社会不安(社会的状況における不安)のために、ある特定の場面・状況では話すことができなくなること



《LD・ADHD》

LD(学習障害)とは、基本的には全般的な知能発達の遅れはないが、聞く、話す、書く、計算する、推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を示すもの。その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定される。

ADHDとは(注意欠陥多動性障害)、年齢あるいは発達に不釣り合いな***注意力**、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学習に障害をきたすもの。また、症状は7歳以前に現れ、その症状が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

- ***注意**…刺激や情報に対して選択的に集中すること。「持続的注意(重要な刺激に対して注意を持続すること)」と「選択的注意(多くの刺激のや情報の中から重要な情報に焦点を当てること)」がある。



【LD・ADHDの障害特性】

- 多くの刺激や情報の中から重要な情報に焦点を当てるのが苦手
教師の話よりも、その他のものに注意が向いてしまう。整理整頓が難しく、目的のものを探し出すことが難しいことが多い。
- 重要な刺激に対して焦点を当てるのが苦手
飽きっぽい。口頭による指示や説明を聞き逃す。
- 必要な記憶を一時的に保持しながら、情報を処理することが苦手
長い話を聞くのが苦手。暗算が苦手。忘れ物が多い。
物語文を読み取ることが苦手。
- 空間の位置関係の把握が苦手
筆算の繰り上がり・繰り下がりのある計算が苦手。文字のバランスが悪い。
- 記憶(聴覚・視覚)することが苦手
忘れやすい。長い話を理解することが苦手。文字を覚えることが苦手。板書をノートに書き写すのに時間がかかる。
- 言動のコントロール
思い付きで話したり行動したりする。課題に計画的に取り組むことが難しい。

☺次号から、特に「発達障害」についての具体的な事例や支援方法についてお伝えいたします。